

## 第3章 学生の受け入れ

### 3. 1 学生募集方法と入学者選抜方法

|                                                 |
|-------------------------------------------------|
| A群：大学院研究科の学生募集の方法、入学者選抜方法の適切性                   |
| B群：成績優秀者等に対する学内推薦制度を採用している大学院研究科における、そうした措置の適切性 |
| A群：他大学・大学院の学生に対する「門戸開放」の状況                      |
| C群：社会人学生の受け入れ状況                                 |
| C群：科目等履修生、研究生、聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性            |

大学院における学生の受け入れについては、推薦試験、一般試験、社会人推薦試験の他、科目等履修生、研究生、大学院特別聴講生がある。

#### 1. 推薦試験

選考方法：口述試験と出願書類により総合的に選考している。

出願資格：次の条件のいずれかを満たし、かつ心身共に健康な者。

- (1) 入学年度から当年3月までのQPAポイントが2.50以上の者。
- (2) 教育課程表における7期から9期までのQPAポイント（専門基礎科目と専門コア科目）が3.00以上の者。
- (3) 次のいずれかに該当し、学系主任またはコアカリキュラム担当主任が認定した者。
  - a. 入学年度から当年3月までのQPAポイントが2.00以上あり、かつ主専攻とする専門コア科目のうち、1科目以上S評価をうけた者。
  - b. 関連分野での創造的活動成果を有する者。
  - c. 関連分野での高度な資格を有する者。

この推薦試験は、本学学部における成績優秀者を対象としているが、(3)の推薦条件に曖昧さがあり、専攻間での判断の違いによって、学生にとって不公平な状況が生じないように配慮する必要があるため、全学的な見地からの検討を行う計画である。

#### 2. 一般試験

選考方法：筆記試験、口述試験と出願書類により総合的に選考している。

専門分野に関する学力状況を確認するためのものであり、希望する領域に応じた専門学力と大学院の専攻分野全般についての基礎的な知識の確認を行っている。また、学習・研究に対する意欲や取組みの姿勢、コミュニケーション能力などの学力以外の要素については、口述試験で確認している。

一般試験については、特に問題なく実施されている。

### 3. 社会人推薦試験

選考方法：口述試験と出願書類により総合的に選考している。

#### (1) 博士前期課程（修士課程）

出願資格：大学を卒業した後、2年以上（当年3月末日現在）企業または、官公庁等に就職し、かつその企業または官公庁等から推薦されたもの。

#### (2) 博士後期課程

出願資格：次の（1）～（2）の条件のいずれかを満たす者。

- （1）修士の学位を有し、かつ1年以上（当年3月末日現在）企業または、官公庁等に在職していたもの。
- （2）大学を卒業した後、3年以上（当年3月末日現在）企業または官公庁等に在職し、かつ研究所等において2年以上（当年3月末日現在）研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果などにより修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

受入状況を表3. 1に示した。人数的には多くないが、継続的に受け入れている。

表3. 1 社会人推薦試験による受け入れ状況

（単位：人）

|          | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 機械工学     |        |        |        |        |        |
| 環境土木工学   |        | 1      |        |        |        |
| 情報工学     |        |        |        | 1      | 1      |
| 電気電子工学   |        |        |        |        |        |
| システム設計工学 |        |        | 1      |        |        |
| 材料設計工学   |        |        | 1      |        |        |
| 建築学      |        |        |        |        |        |
| 経営工学     |        |        | 1      |        |        |

H15年度土木工学専攻から環境土木工学専攻へ名称変更

### 4. 科目等履修生

選考方法：学力試験、面接、出願書類などにより総合的に選考する。

出願資格：大学を卒業した者、または、これと同等以上の学力があると認められたもの。

なお、大学院への進学を希望している本学学部生で、大学院の科目の履修を希望する者については、審査の上、大学院の科目等履修生として受け入れている。これらの学生は、科目履修学部生と呼んでおり、科目履修に必要な納入金が免除されている。

## 5. 研究生

研究生として、研究指導を希望する場合には、学力と人物を確認した上で、出願された研究課題に応じて指導教員を定め、受け入れている。

## 6. 大学院特別聴講学生

連合大学院制度による単位互換に関する協定に基づき、金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学の学生を、大学院特別聴講生として、受け入れている。

表3. 2に専攻別の受け入れ状況を示す。

表3. 2 大学院特別聴講生の受け入れ状況

(単位：人)

|          | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 機械工学     | 2      |        |        |        |        |
| 環境土木工学   | 5      | 2      | 3      |        | 1      |
| 情報工学     | 2      |        |        |        |        |
| 電気電子工学   | 2      |        |        |        |        |
| システム設計工学 |        |        |        | 1      |        |
| 材料設計工学   |        | 4      |        |        |        |
| 建築学      | 3      | 8      | 4      | 6      | 3      |
| 経営工学     |        |        |        |        |        |

H15年度土木工学専攻から環境土木工学専攻へ名称変更  
H15年度は春学期段階での受入数

## 3. 2 定員管理

A群：恒常的に著しい欠員が生じている大学院研究科・専攻における対処方策の適切性

博士後期課程については定員を充足していないが、博士前期課程（修士課程）においては収容定員の2倍から3倍の学生が在籍しており、著しい欠員が生じている専攻はない。

ただし、入学定員増を図るなど、進学意欲ある学生に応える方策の検討が急がれる。また、大学院への進学など、さらなる勉学を目指すことの意義や魅力を伝える進路指導面の取り組みによって学習意欲を触発するなどの活動に力を入れていくことも検討しなければならない。